

講演: 垣添忠生(かきぞえ ただお)先生



公益財団法人日本対がん協会 会長
1941年、大阪で生まれ。
1967年東京大学医学部医学科卒業。泌尿器科を専攻し、1975年より国立がんセンター泌尿器科医員。
1992年中央病院長。
2002年国立がんセンター総長。

2007年定年退職し、現在は公益財団法人日本対がん協会会長を務める。

高松宮妃癌研究基金学術賞、日本医師会医学賞、瑞宝重光章などを受賞。

著書:「妻を看取る日」(新潮社)、「悲しみの中にあるあなたへの処方箋」(新潮社)、「巡礼日記-亡き妻と歩いた 600キロ」(中央公論新社)など。

シンポジスト: 長谷川一男(はせがわ かずお)氏



NPO 法人肺がん患者の会ワンステップ代表
肺がん。ステージ4。2010年に発病し、現在9年目。
ワンステップが大切にしていることは「仲間を作る」と「知って考える。」
2ヶ月に1回のペースでおしゃべり会開催。HPとブログにて、様々なテーマで情報

発信している。

全国 11 の肺がん患者会が集まった「日本肺がん患者連絡会」所属。理事長。

日本肺癌学会と連名で要望書を厚生労働省に提出するなどの活動も積極的に行う。

2016年4月、NHKETV 特集でその闘病生活が放送された。同年12月世界肺癌学会からパシエントアドボカシーアワード。現在日本肺癌学会ガイドライン外部委員。

コーディネーター: 澤祥幸(さわ としゆき)先生



岐阜市民病院 がん診療局長
1984年 岐阜大学医学部卒業
1987年 大阪府立はびきの病院レジデント
1993年 岐阜市民病院呼吸器科医長兼診療科長
2006年 日本初のがん薬物療法専門医
2011年 岐阜市民病院診療局長(がんセンター長)
・岐阜市参事

2002年より、国際肺癌連盟(global lung cancer coalition)ボード、2014年より世界肺癌学会アドボカシー委員として、国際的な肺癌患者支援活動に参画中。

日本肺癌学会肺癌医療向上委員会として学会を挙げてアドボカシー活動を企画・運営。

講演: 坂下千瑞子(さかした ちずこ)先生



東京医科歯科大学医学部附属病院
血液内科特任助教
1992年大分医科大学を卒業後、東京医科歯科大学第1内科に入局
1995年血液悪性腫瘍の臨床・研究に従事
2004年アメリカペンシルバニア大学血液腫瘍内科にて研究に従事

2005年胸椎腫瘍の為帰国。腫瘍脊椎骨全摘術を受ける。その後腰椎の再発を認め、重粒子線療法と化学療法を受ける。2008年「ルー・フォー・ライフ・ジャパン大分実行委員会」を設立。2011年東京医科歯科大学医歯学融合教育支援センター勤務にて医学教育に従事。

2013年東京医科歯科大学血液内科に勤務。

日本対がん協会評議員就任。

2016年「ルー・フォー・ライフ・ジャパン御茶ノ水実行委員会」設立。

2018年厚労省がん対策推進協議会の委員に就任。

シンポジスト: 三宅智(みやけ さとし)先生



東京医科歯科大学 臨床腫瘍学分野・教授
医学部附属病院 腫瘍センター長
1987年 東京医科歯科大学医学部卒業
1987年 同 第1外科学教室入局
1994年 友愛記念病院 外科勤務
1996年 Harvard Medical School,
Dana-Farber Cancer Institute 留学

1999年 埼玉県立がんセンター研究所 主任(分子疫学)

2001年 東京医科歯科大学 分子腫瘍医学分野講師

2003年 東北大学医学研究科 発生分化解析分野講師

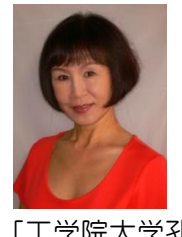
2005年 友愛記念病院 緩和ケア・化学療法科

2007年 友愛記念病院 緩和ケア・化学療法科部長

2010年 栃木県立がんセンター 緩和ケア病棟医長

2012年 現職

司会: 木蘭(ムーラン)氏



NPO 法人がん患者団体支援機構 理事
その昔ビクターから歌手デビュー。20年前「鼻中隔がん」で大手術。NetTV「Canps Station」NetRadio「リライブ談話室」のパーソナリティー、又「リライブバンド」のボーカルとして歌手活動。「チームリライブ」代表。「工学院大学孔子学院客員研究員」

司会: 山本ゆき(やまもと ゆき)氏



NPO 法人がん患者団体支援機構 理事
秋田県在住。NPO 法人がん患者団体支援機構には第8回の大集会から参加。2016年秋田市で開催した第12回がん患者大集会では実行委員長として、地方からの患者の声を拾い上げ、地域間格差の解消を訴える。夫を胸腺がんで亡くし、希少がんの取り組みに力を入れ、2015年10月に悲願の胸腺腫瘍の患者会「ふたつば」の発足を実現した。